

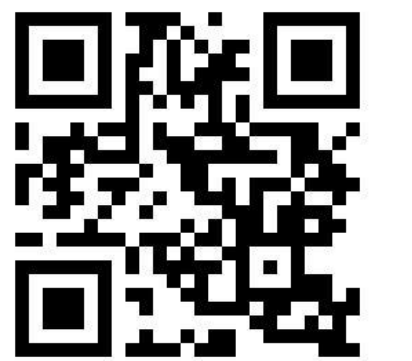
ミャンマー地方部における 沈下橋建設事業



特定非営利活動法人

国際インフラパートナーズ

www.jip.or.jp



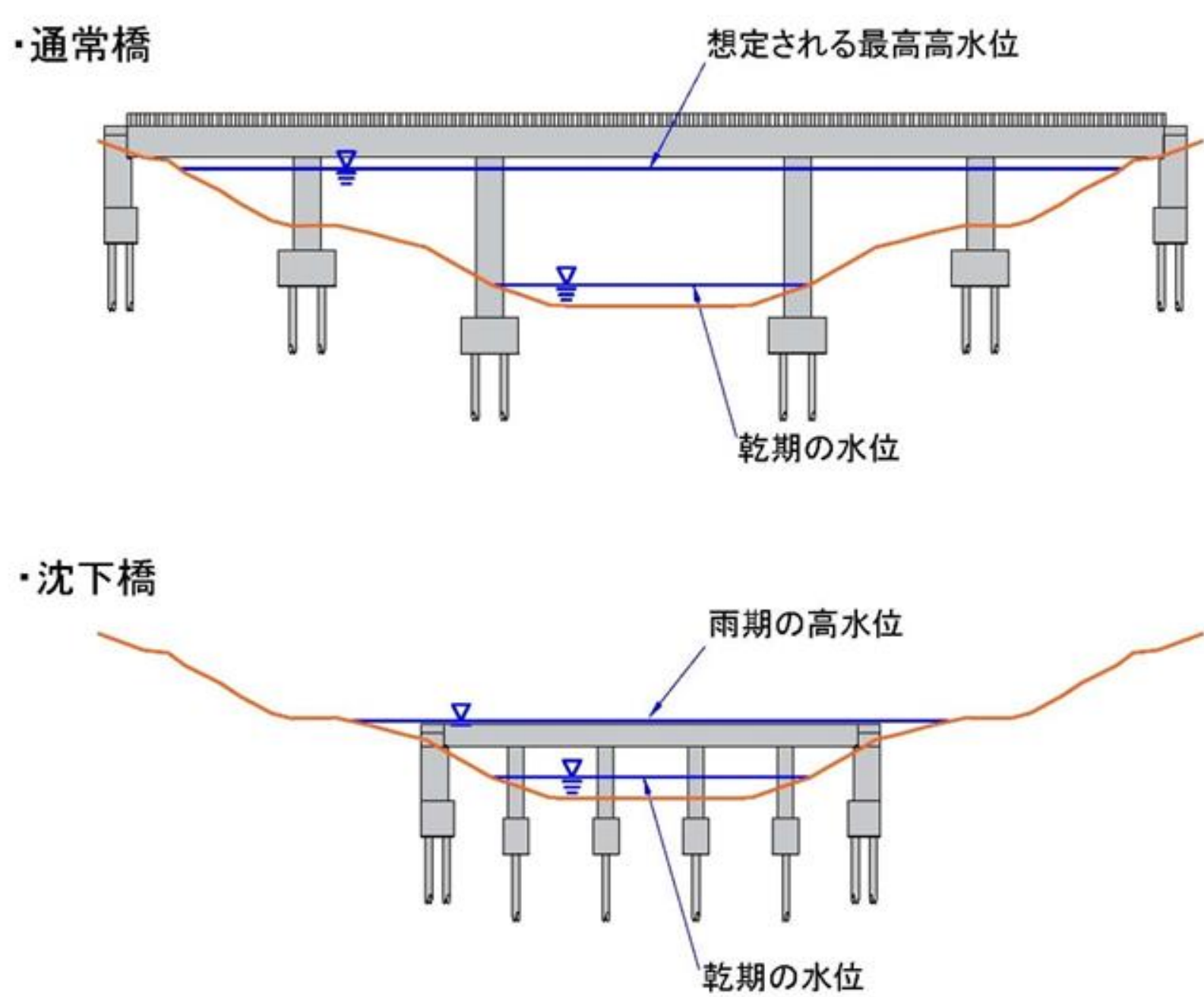
沈下橋とは



沈下橋の建設状況

通常橋は、30～50年に1度の洪水時でも水に浸からないように高い位置に架ける

沈下橋は、通常時に水が流れている低い位置に架ける



交通の障害が少ない！

雨期（洪水期）に数回、数時間程度、水に沈んで通行不能になるが、減水したらすぐに通れる

費用が極めて安い！

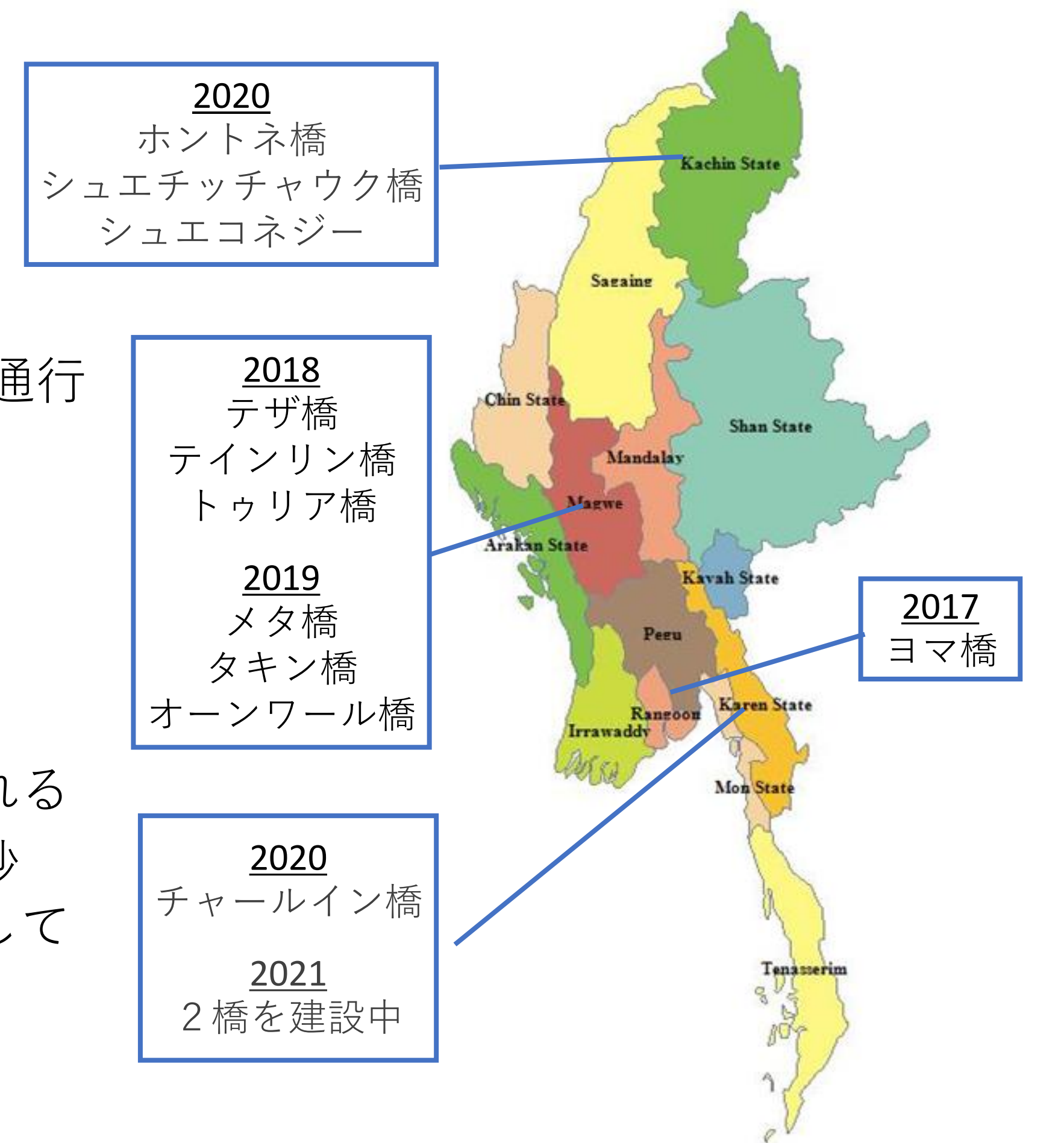
低い位置に架けるので基礎が簡単で橋長も短い

－洪水流の抵抗を減らすため、構造を簡素化

－通常橋1本を架ける費用で数本～10本かけられる

－地方部でも容易に調達できる材料（セメント・砂利・砂・鉄筋）だけを用い、現場打ち杭を採用しているため施工が容易

－複雑な付属物がないので維持も容易



全国の無数の地方集落に、早く道路を行き渡らせるのに最適

100以上の候補・要請地点から現地踏査によって決定

ミャンマーの地域政府も自己資金で沈下の橋建設を開始

地方部には橋が無く生活が困難

住民の期待を受け乾期の半年で施工



学童たちは教科書や弁当を頭にのせて川を渡る

洪水で休校になることも



村人が架ける橋は、洪水の度に流される



雨期は舟で川を渡る
両岸には舟を待つ車や人が並んで待っている

学童たちに囲まれ起工式



住民が集まり喜びの開通式



現場打ち杭で基礎はしっかりと

ミャンマーの建設会社が、地方部でも容易に調達できる材料で施工



沈下橋のおかげで生活が改善

住民による計画・建設・維持管理

住民が毎年橋をかける負担がなくなった



けが人はすぐ病院に運ばれ助かった

30年に一度の洪水でも流されない

住民が協力して流木を片づけ

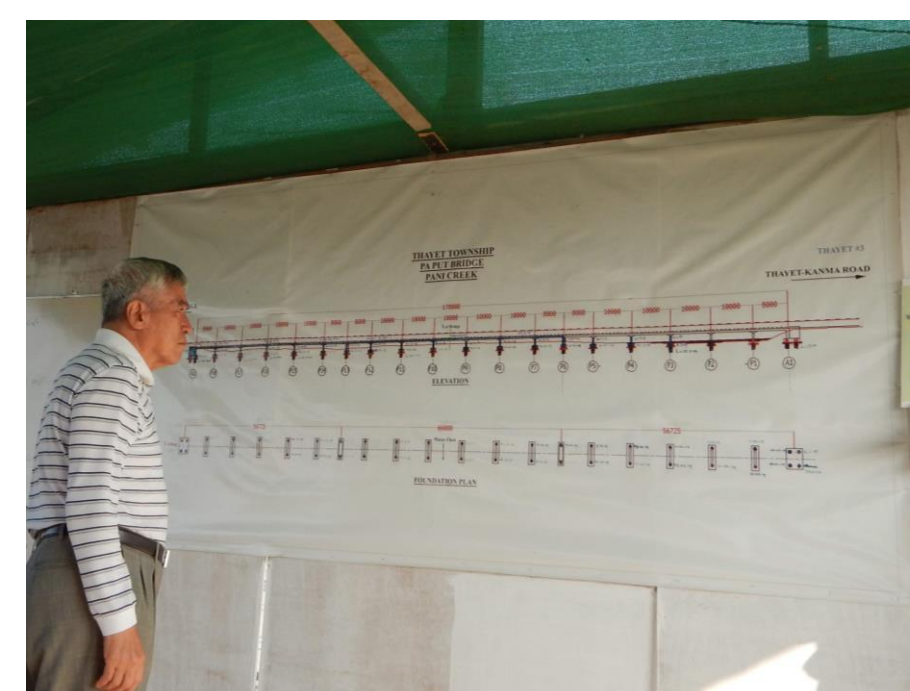


橋のスパンを統一し設計を簡略化



雨期でも安全に通学

安定して都市に農作物を出荷できる



ワークショップや建設現場で地域の土木関係者や学生に技術指導



外務省『日本NGO連携無償資金協力』により実施しています